

# 要人往来

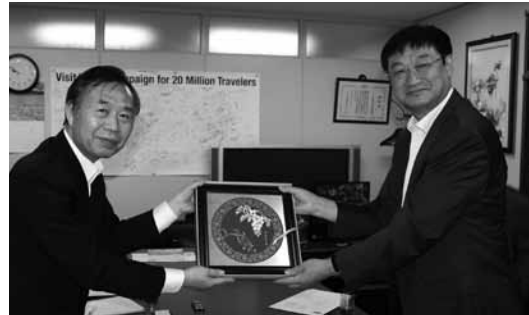
「ツーリズムEXPOジャパン2015」が目前に迫り、JATA本部を訪れる要人の方々も、改めて、旅行業界を通じて日本の海外旅行市場にアプローチする重要性への認識を深めながら、自国への旅行者誘致に向けて様々な努力を重ねています。



ニッター・ウフムピッター タイ国政府観光庁(TAT)東京事務所長(中央右)と後任のパツアラノン・ナチェンマイ氏(中央左)



フレデリック・マゼンク フランス観光開発機構在日代表/アジア・太平洋・中東地区統括責任者(中央右)、右は中村理事長



中村理事長に記念品を贈呈する李景平 大連市旅遊局長

## MERS終息で日本からモニターツアー実施 韓国 7月22日(水)

チョ・ギョヨン アシアナ航空副社長・旅客本部長

JATA本部を表敬訪問し、「MERSが終息に向かっていることをアピールするため、日本の旅行業界・自治体の関係者やメディアを対象にモニターツアーを実施する」と説明。「早急に両国の観光交流が平常に戻るよう、JATAの力を借りながら努力していきたい」と協力を要請。中村理事長らは、「モニターツアーに加えて、マスコミなどを絡めたキャンペーンを展開すれば、効果が期待できる」と指摘し、「MERSの終息に伴って、旅行業界の関係者や一般紙などに積極的にアピールしてください」と応じました。

## 観光分野への投資を拡大

タンザニア 7月30日(木)

バチルダS.ブリアン 駐日大使

新任挨拶で中村理事長を表敬訪問し、「世界遺産をはじめ観光資源が多彩で、フォトサファリツアーやキリマンジャロ山ツアー、カルチャーツアーなど様々な商品が提供できる」と語って、「今後、観光分野への投資も拡大していくので、JATAにも協力していただきたい」と要請。中村理事長らは、「タンザニアはポテンシャルの大きい観光地であり、安心安全の面でも問題が少ないので、まず、需要開発を行うことが重要です。JATAとしても、協力します」と応えました。

## JATAとの協力でさらなる二国間交流を タイ 8月4日(火)

ニッター・ウフムピッター タイ国政府観光庁(TAT)東京事務所長

退任の挨拶と後任のパツアラノン・ナチェンマイ氏を紹介するため、中村理事長を訪問。「JATAとTATの協力で進んだ二国間交流をさらに拡大するため、新たなプロジェクトも実施する予定で、引き続き、協力をお願いしたい」と要請。中村理事長は、「双方向交流の拡大はニッター所長の努力の成果であり、今後もJATAとTATの協力関係を継続していきたい」と応えました。



チョ・ギョヨン アシアナ航空副社長・旅客本部長(左) バチルダS.ブリアン 駐日大使

## 新しい形での大規模キャンペーンを検討

フランス 7月31日(金)

フレデリック・マゼンク フランス観光開発機構在日代表  
/アジア・太平洋・中東地区統括責任者

JATA本部を訪問して、「フランス観光開発機構は毎年、日本の旅行業者とのワークショップも含めたB2Bの販売促進活動を行っている」と説明し、「今後、新しい形での大規模なキャンペーンを検討しており、JATAのアイデアや協力をいただきたい」と共同展開の可能性を打診。中村理事長らは、「欧州の中でも最も人気のあるデスティネーションだが、一般旅行者への継続的なアピールが必要」と指摘し、新たな形でのツーリズムEXPOジャパンへの参加も検討するよう要請しました。

## 日本からのクルーズ観光も視野に

中国 8月4日(火)

李景平 大連市旅遊局長

JATA本部を訪れ、「中国国内から旅行者が増えており、日本からの旅行者ももっと誘致したい。クルーズで日本を訪れる中国人旅行者も増えているので、クルーズ観光の可能性なども含め、日本から自治体や旅行会社を招いて観光フォーラムなどを開催したい」と説明。中村理事長は、「日本では大型クルーズ船に対応できる港が限定されており、政府や自治体との協力関係の維持が必要」と語り、「ツーリズムEXPOジャパンで一般旅行者や旅行業界関係者にアピールしてください」と応じました。